

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあさがおねっと		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化されないよう毎回違う取り組み(内容)を考えて実行している。	・毎日内容を変えたレクリエーションをし、SSTを学ぶ機会を設けている。またその日の子どもたちの年齢層に合わせて内容の設定をし取り組んでいる。 ・週間活動や、外出支援などの固定化されているプログラムについても、毎月内容を変更して取り組んでいる。	・事業所会議だけでなく、普段から意見やアイデアを出せる時間の確保をする。 ・子どもたちのやりたいことや意見も尊重して、積極的に取り入れていきたい。
2	日頃から保護者に子どもの状況を伝え、共通理解を持てるようにしている。	・連絡帳に記載するだけでなく、送迎時に保護者と情報共有する時間をつくっている。また、保護者からの相談等に応じて、助言や家庭訪問を行っている。 ・月に2回のブログ更新や、2か月に1回紙面での活動報告をしている。	・直接、保護者と情報共有や交流する機会を増やすことを目的に保護者会の開催を定期的に行いたい。
3	子どもたちが過ごす環境(運動ができる部屋・机上遊びができる部屋)が整っており、個室も2部屋あることで環境の配慮が適切になされている。	子どもの状況に合わせて個室を使ったりと臨機応変な対応が出来る。	各部屋の中に部屋のルールの張り紙を掲示するなど、視覚支援を多く取り入れられるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流や保護者との情報共有する場としての保護者会の開催を行うことが出来ない。	・全体的な参加人数が少なかったり、参加する保護者が限られる傾向にある。	・魅力的に思うイベントを考えたり、参観日を設けるなどして保護者同士が、交流をもてる機会をつくりたい。
2	・業務改善を進めるためのPDCAサイクルが定着していない。	・イベントごとなどは会議にて、目標設定と振り返りを行っているが、日々の支援に対しては目標設定をし振り返る習慣が定着していない。	・子どもたちがいない送迎前や送迎後の時間を使って、日々の支援に対しての目標設定と振り返りを行い、習慣が定着するようにする。
3			